

標記について下記のとおり報告します。

日 時	2011年11月9日(水)
場 所	城陽市福祉センター ホール
出席者	宇治支援学校(進路部長)、あんびしゃ、城陽作業所、ワークショップ野の花、ものづくりスペースみんななかま(5名<記録者含む>)
アドバイザー	樋口 幸雄 様
オブザーバー	福祉課(1名) はーもにい(1名)
参加者数	8名
検討課題	①福祉情勢の共有、②障がいのある人の工賃アップに向けて、③②の内容を踏まえ京都ライフサポート協会の実践を学ぶ。

【議事録】

1、福祉情勢の共有。

- ・ 総合福祉法（新法）の内容の共有。
  - \* 障害者総合福祉法の骨格に関する総合福祉部会の提言を参照。「障害者就労センター」「ディアクティビティセンター」の創設、「障害者就労センター」は労働法を全面適用または部分適用を提言している。また、官公需や民需の安定確保の仕組みの構築、ならびに賃金補填の制度化による就労する障害者に最低賃金以上を確保することの意見交流と共有。
- ・ 丹後障害者自立支援協議会が取り組んでいるはあとウォームカンパニーについての報告。
  - \* 福祉と企業との連携強化に向けた取り組み。

2、工賃アップに向けて樋口理事長とのディスカッション

- ・ 樋口理事長が話された要旨
  - \* 工房グリーンフィールドは、京都府で一番の工賃で平均4万円。(高い人で6万円、低い人でも2万円) そのための障がいのある人、支援者の仕事量・工夫等の努力によって実現されている。
  - \* 作業工程を細分化すれば重度の障がいのある人もどこかで作業へ参加できる筈。
  - \* 意識として、正しいことを根気よく、高い理想を持って継続することが大事。理念をしっかりと持つことの重要。
  - \* 利用者（障がいのある人）のための仕事ということを踏み外してはだめ。

・ 議論の要旨

- \* フレンチレストランの仕事をはじめられたが、重度の障がいのある人も参加できる仕事としてフレンチレストランを選択されたのか。
 

A→そういうことです。前にでる人（接客）は限られているが、重度の障がいのある人が畑で野菜を生産しその野菜を材料にすることも作業への参加に繋がる。つまりあらゆる面でフレンチレストランの仕事を支えている。
- \* 工賃設定はどうしているのか。
 

A→1番大変な仕事に高い給料にしている。フレンチレストランの仕事では畑仕事が一番高い給料設定。
- \* 樋口理事長の話されたことを各事業所でどう具体化していくか。また、事業所内職員の意識もどうかえていくか。今後の検討課題となる。

3、今後の取り組み

- ・ 課題、障がいのある人の働くを支え、高い給料保障をしていくことと、維持していくための支援者の意識と具体的な実践をどうつくっていくか。
 

具体的な動き、①ライフサポート協会の取り組みを深くしていくために見学へ行く。②障がいのある人の働くということを一般企業からの視点で学ぶ、アドバイザーとして部会に来ていただく。